

教育活動の状況報告書

名古屋産業大学

(令和5年8月)

I. 教員の情報

1. 教員一人当たりの学生数(令和5年5月1日現在)

	在校生	教員数	教員一人当たりの学生数
学部	736	33	22.3
大学院	12	9	1.3

2. 専任教員数等の年齢構成(令和5年5月1日現在)

区分	年齢ごとの専任教員数(助教以上)						助手等の平均年齢
	70以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29以下	
教授	6	8	4				なし
准教授		1	4	4			
講師	1		1	4			
助教							
計	7	9	9	8	0	0	

合計 33 人

3. 専任教員数と非常勤教員数(比率)(令和5年5月1日現在)

専任教員数	非常勤講師数
33 (37%)	56 (63%)

II. 学生の状況

1. 令和5年4月入学者数

	入学者数	入学定員
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	150	150
現代ビジネス学部 経営専門職学科	15	40
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 編入	4	5
名古屋産業大学大学院 (博士前期課程)	0	10
名古屋産業大学大学院 (博士後期課程)	2	3

2. 入学数推移(令和2年度～令和4年度の入学者数推移)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	258	172	148
現代ビジネス学部 経営専門職学科	—	16	13
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 編入	5	3	3
名古屋産業大学大学院 (博士前期課程)	10	4	2
名古屋産業大学大学院 (博士後期課程)	0	1	1

3. 在籍者数(令和5年5月1日現在)

	在籍者数	収容定員
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	693	650
現代ビジネス学部 経営専門職学科	43	120
名古屋産業大学大学院(博士前期課程)	7	20
名古屋産業大学大学院(博士後期課程)	5	9

4. 卒業・学位授与者数(令和5年3月末時点)

現代ビジネス学部	125
名古屋産業大学大学院(博士前期課程)	8
名古屋産業大学大学院(博士後期課程)	1

5. 就職者数(令和5年5月1日現在)

現代ビジネス学部	115
名古屋産業大学大学院(博士前期課程)	0
名古屋産業大学大学院(博士後期課程)	0

6. 進学者数(令和5年5月1日現在)

現代ビジネス学部	2
名古屋産業大学大学院(博士前期課程)	1
名古屋産業大学大学院(博士後期課程)	0

7. 留年者数(令和5年5月1日現在)

現代ビジネス学部	17
名古屋産業大学大学院(博士前期課程)	5
名古屋産業大学大学院(博士後期課程)	0

8. 社会人学生数(令和5年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年
現代ビジネス学部	0	0	0	0
名古屋産業大学大学院(博士前期課程)	0	0	—	—
名古屋産業大学大学院(博士後期課程)	2	0	0	—

9. 留学生数及び海外派遣学生数(令和5年5月1日現在)

	留学生数	海外派遣学生
現代ビジネス学部	29	0
名古屋産業大学大学院(博士前期課程)	3	0
名古屋産業大学大学院(博士後期課程)	3	0

Ⅲ. 国際交流・社会貢献等の概要

1. 協定相手校の情報

台湾の育達科技大学、台湾体育運動大学等と、相互発展を目的として協定を締結。協定のおもな内容は、以下のとおり。

- ・ 学術資料、学内刊行物および学術情報の交換
- ・ 教職員、研究員の交換 ・ 学生の交流 ・ 共同研究の実施

2. 社会貢献活動

- ・ 地域に施設開放。大ホール等の施設を市役所や、自治会等のイベントに貸出。
- ・ 図書館を一般向けに開放。
- ・ 「菊武夏祭り」を通じて、地域住民と交流。
- ・ 環境フォーラムや公開講座の開催。
- ・ 尾張旭市「平子の森トライアル事業」での平子の森活用推進。
- ・ 東北ボランティア隊による復興支援活動。

3. 大学間連携

2003年6月3日に6大学が瀬戸市と「大学コンソーシアムせとに関する包括協定書」および「大学コンソーシアムせとに関する包括協定のための覚書」に調印する。

2023年現在 本学、愛知医科大学、愛知工業大学、金城学院大学、名古屋学院大学、南山大学の6大学が加盟し、合同大学祭や小中学校支援、駅伝大会等の活動を行っている。

4. 産官学連携

尾張旭市始め国内、海外の各種団体と地域連携等を目的に連携協定を締結。
協定締結先は、以下のとおり。

名古屋産業大学 連携協定締結一覧

※インターンシップ、高大連携は除く

	団体名	締結年	連携内容
国内	1 尾張旭市	H22	地域活性、資源の相互活用
	2 グリーンシティケーブルテレビ 株式会社	H30	地域活性、資源の相互活用
	3 中小企業大学校瀬戸校	H30	地域の課題解決、資源の相互活用
	4 愛知中小企業家同友会	R1	地域活性、資源の相互活用、人材育成
	5 特定非営利活動法人G-net	R2	地域活性、人材育成
	6 ツルタ工業 株式会社	R2	教育活動、地域貢献
	7 ダイヨシ・コーポレーション 株式会社	R2	教育活動、地域貢献
	8 尾張旭市商工会	R3	地域活性、資源の相互活用
	9 株式会社 ケアベルデ	R3	地域活性、資源の相互活用
	10 一般社団法人日本ワーキング・ホリデー協会	R3	地域活性、資源の相互活用
	11 一般社団法人尾張旭市観光協会	R3	地域活性、資源の相互活用
	12 瀬戸市・瀬戸商工会議所	R4	地域活性、資源の相互活用
	13 有限会社 湯元榊原館	R5	地域貢献、人材育成
	14 一般社団法人わくわくスイッチ	R5	地域活性、人材育成
	15 学び舎mom 株式会社	R5	地域活性、人材育成
海外	16 (中国) 南京工業大学	H13	学術交流、資源の相互活用
	17 (中国) 江蘇省教育庁	H17	留学生受け入れ
	18 (台湾) 育達科技大学	H21	学術交流
	19 (台湾) 淡江大学	H26	学実交流、資源の相互活用
	20 (台湾) 国立台湾体育運動大学	H26	学術交流
	21 (中国) 苗栗県観光協会	H24	企業実習
	22 (台湾) 国立聯合大学	H28	学術交流
	23 (台湾) 建台高等学校	H28	環境教育普及、人材交流等
	24 (台湾) 台北市私立育達高級商業家事職業学校	H29	留学生受け入れ
	25 (台湾) 朝陽科技大学	R1	環境教育普及、人材交流等
	26 (中国) 鄭州昇達経貿管理学院	R1	学生交流